

第93回 高尾山GREEN CLEAN作戦

2019年2月2日(土) 晴れ

前日の雪が山道、尾根道に残る中、天候に恵まれ遠くの山並み・街並みの景色を楽しみながらの楽しいGREEN CLEAN作戦になった。スタート地点の宝珠寺で東京都天然記念物「小仏のカゴノキ」を観察。樹皮が鹿の子模様になっていた。木の下にはマンリョウ・アオキが赤い実をならせていた。開会式(挨拶、見所、安全注意、体操)の後、4班に分かれてスタート。

旧甲州街道を小仏峠まで登る。コクサギの冬芽を観察。縁が白くツートンカラーで美しい。冬芽ハンドブックの三大美芽の一つ(他の二つはネジキとザイフリボク)。雪が木の枝に積り、花を咲かせている様で美しい。タマアジサイがガクと花柱を残し頑張っていた。小仏峠で給水休憩。新宿の街並みとスカイツリーが綺麗に見えた。この辺りには雪が10cm程残っているところもあった。雪の積もった階段を滑らない様にゆっくりと登る。見晴らし台から富士山、三ツ峠などの山並みを観賞。

次に小仏城山の巻道を通り小仏城山へ向かう。こちらで、カシワバハグマにできたシモバシラを見た班もあった。小仏城山山頂からも富士山、新宿街並み・スカイツリーの景色を楽しむ。春美茶屋は休業していたが、城山茶屋は営業していた。小仏城山の三角点を皆でさわって確認し、一丁平を目指す。

一丁平の展望台で待望の昼食休憩。東屋で臼井班長からヤマムユガ、クスサン、ウスタビガなどの実物の繭による説明に耳を傾ける。集合写真を撮って出発。枯れたセンブリやフウの枝に着いたクスサンの繭(スカシダワラ)を観察。もみじ台手前の分岐から日当たりのよい巻き道に入り、正月飾りに使うウラジロ、ヤブコウジの実、キジョラン、コウヤボウキ、ナガバノコウヤボウキ、オヤマボクチ、コブシの冬芽、ビナンカズラ、ハリギリの冬芽、ハナイカダなどを観察。最後のきつい階段を登り高尾山頂に到着。

高尾山山頂で富士山などの山並みを観賞した後、ゴミ拾いの準備をしてゴールである高尾山口駅そばの小公園を目指す。ゴミを拾いながらニワトコの冬芽、シュンランの蕾、クロモジ、ダンコウバイ、シラキの冬芽、紅梅などを楽しみながら薬王院の参道に到着。ムササビの巣であるケヤキの穴を観察。この辺りは人通りも多いので、ゴミも多く、土の穴の中に入れてある空き缶なども回収。

無事に、高尾山口駅そばの小公園に到着。ゴミを集め、整理体操、ゴミ分別、安全確認の後、閉会式を行い解散となった。今回は距離も比較的長く、雪を踏みしめて歩くGREEN CLEAN作戦となり、有意義な一日でした。前日に雪が降った中、参加して頂いた一般の参加者に感謝!お世話を頂いたスタッフの皆様へ感謝!有難うございました。拾い集めたごみは、燃えるゴミが20リットル1袋、ペットボトル、缶、瓶が少々でした。高尾駅北口でもゴミを1袋拾いました。

今月の見どころ: タマアジサイのドライフラワー、クスサン、ニワトコ冬芽、紅梅、タチツボスミレ

開催場所: 小仏~城山コース [小仏バス停~小仏峠~小仏城山~一丁平~高尾山頂]

参加者: 37名 (一般14名、FIT会員23名)

スタッフ: 入江克昌(代表)、稲葉 力[写真]、臼井治子、野坂俊樹、廣川妙子、福田正男、槇田幹夫[補足]

報告者: 久保雅春

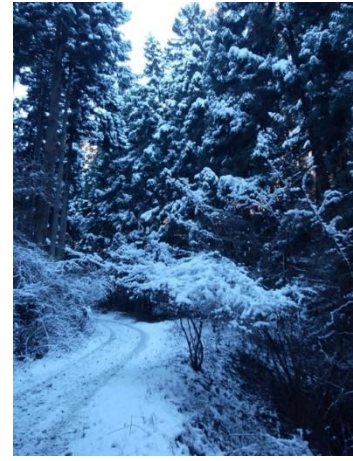
* 次回の「第94回高尾山GREEN CLEAN作戦」は3月2日(土)カツラ林コースです。

高尾山口駅 9時30分集合、病院道~2号路~3号路~もみじ台~高尾山です。





開会式：雪の残る宝珠寺で安全注意



水墨画の世界：旧甲州街道



雪の尾根道を歩く



一丁平で集合写真



一丁平から富士山望遠



ウスタビガ・スカシダワラ・天蚕の繭と天蚕布



雪の下の「氷の華」：カシワバハグマ



展開始めた冬芽：ニワトコ